



スパークス・韓国株ファンド 愛称: 韓国厳選投資

マンスリーレポート
2019年5月31日

お知らせ

スパークス・アセット・マネジメント株式会社は
株式会社格付投資情報センターの選定による「R&Iファンド大賞2019」において
「投資信託／総合部門」の「国内株式総合部門」で
「優秀賞」を2年連続受賞しました。



「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

当表彰は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が受賞したアワードであり、当ファンドの受賞ではございません。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社は
「リップパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ 2019 ジャパン」において
「投資信託 株式部門 最優秀会社賞」を受賞しました。



LIPPER FUND AWARDS FROM REFINITIV

2019 WINNER
JAPAN

「リップパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ 2019 ジャパン」は、リフィニティブが世界各都市で開催している「Lipper Fund Awards from Refinitiv 2019」プログラムの一環として行われ、日本において販売登録されている国内および外国籍ファンドを対象に、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。選定/評価に際しては、Lipper独自の投資信託評価システム「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用いています。

Refinitiv(リフィニティブ)について

Refinitivは世界有数の金融市場データのプロバイダーで、190カ国以上で4万社を超える企業・機関にサービスを提供しています。先導的なデータと洞察、トレーディング・プラットフォーム、市場データ・インフラストラクチャー、オープン・テクノロジー・プラットフォームを通じて、世界の金融市場コミュニティを相互に接続し、発展を支えています。

「リップパー・ファンド・アワード・フロム・リフィニティブ 2019 ジャパン」の評価の基となるLipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システムのファンドに関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。Lipper Leader Rating システムが分析しているのは過去のファンドのパフォーマンスであり、過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、Lipperが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

当表彰は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が受賞したアワードであり、当ファンドの受賞ではございません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・韓国株ファンド

(愛称: 韓国厳選投資)

特化型 マンスリーレポート

基準日 2019年5月31日

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

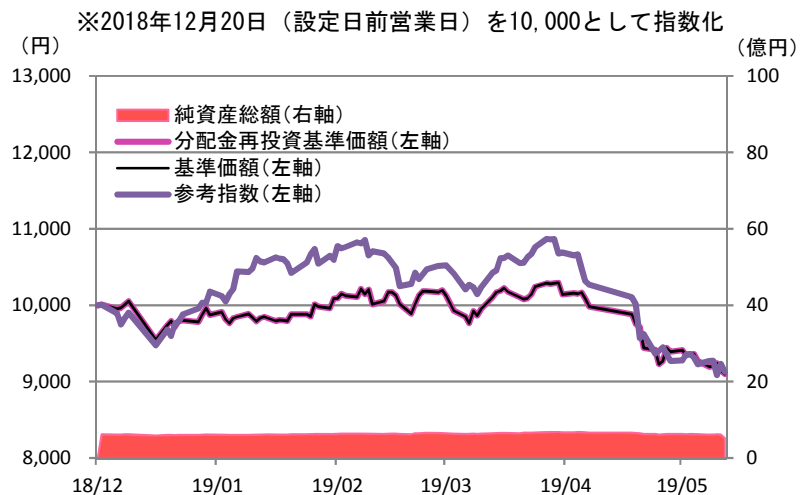
【運用実績】

	過去のパフォーマンス(%)		直近の分配実績(円)	
	ファンド	参考指数		
過去1か月間	-8.86	-11.10		
過去3か月間	-10.83	-14.34		
過去6か月間	-	-		
過去1年間	-	-		
過去3年間	-	-		
設定来	-9.02	-8.75	設定来累計	0

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。
※当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は、「韓国総合株価指数(円ベース)」です。詳細は、本資料5頁をご参照下さい。

【基準価額・純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
9,098 円	9,098 円	5.18 億円



※当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「韓国総合株価指数(円ベース)」です。詳細は、本資料5頁をご参照下さい。
※基準価額は、信託報酬等控除後です。
※分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。
※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【資産配分】

資産種類	比率
株式	90.2%
投資信託証券	3.5%
その他株式関連証券	0.0%
現金その他	6.3%
合計	100.0%

【業種別配分】

業種	比率
資本財	16.7%
素材	15.7%
ソフトウェア・サービス	10.0%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.1%
メディア・娯楽	7.1%
ヘルスケア機器・サービス	5.3%
食品・飲料・タバコ	5.3%
半導体・半導体製造装置	4.2%
食品・生活必需品小売り	4.0%
耐久消費財・アパレル	3.9%
その他	13.4%
合計	93.7%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

【組入れ上位 10 銘柄】(銘柄総数:24銘柄)

No	銘柄名	業種	組入比率
1	DOUZONE BIZON CO. LTD	ソフトウェア・サービス	10.0%
2	Ssangyong Cement Industrial Co., Ltd.	素材	5.5%
3	Suheung Co. Ltd.	ヘルスケア機器・サービス	5.3%
4	Harim Holdings Co., Ltd.	食品・飲料・タバコ	5.3%
5	JYP Entertainment Corp	メディア・娯楽	5.1%
6	Asia Cement Co., Ltd.	素材	4.6%
7	Enzychem Lifesciences Corp.	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.4%
8	T.K. Corp	資本財	4.4%
9	Leeno Industrial Inc.	半導体・半導体製造装置	4.2%
10	GS Retail Co., Ltd.	食品・生活必需品小売り	4.0%

※上記記載のうち、【運用実績】、【基準価額・純資産総額の推移】以外は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。
※比率は当ファンドが投資するマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※ 当資料のご利用に当たっては、次ページ以降の注意事項を必ずお読み下さい。



スパークス・韓国株ファンド

(愛称:韓国厳選投資)

マンスリーレポート
基準日 2019年5月31日

組入上位銘柄の概要

No	銘柄名	銘柄概要
1	DOUZONE BIZON CO.LTD	ダゾンビズオン(DuzonBizon Co., Ltd.)は、ソフトウェア開発会社。中小企業向けの会計プログラム、ERP(基幹系情報システム)、クラウドサービス、グループウェア、電子税金計算書など、企業インフラに必要なITソリューションを提供。
2	Ssangyong Cement Industrial Co., Ltd.	双龍セメント[サンヨンセメント](Ssangyong Cement Industrial Co., Ltd.)は、セメントメーカー。セメント以外の製品は、工業用ファインセラミックス、フェライト磁石など。住宅開発、プラント設計なども手掛ける。
3	Suheung Co. Ltd.	ソフン(Suheung Co., Ltd.)は、医薬品業界向けにゼラチン製のハードカプセルとソフトカプセルなどのメーカー。健康・栄養食品とハードカプセル充填機も手掛ける。
4	Harim Holdings Co., Ltd.	ハリム・ホールディングス(Harim Holdings Co., Ltd.)は、食肉加工会社、飼料メーカー、海運会社、食品メーカーなどを傘下に持つ持株会社。
5	JYP Entertainment Corp	JYPエンタテインメント(JYP Entertainment Corp)は、総合エンターテインメント会社。アーティストの発掘・育成、音楽制作を伴うエンターテインメント活動の管理などを手掛ける。所属アーティストの海外進出に積極的。
6	Asia Cement Co., Ltd.	アジアセメント(Asia Cement Co., Ltd.)は、セメントメーカー。セメント以外にドライモルタル、生コンクリートなども手掛ける。
7	Enzychem Lifesciences Corp.	エンジーケム・ライフサイエンス(Enzychem Lifesciences Corporation)は、医薬品メーカー。健康食品や化粧品も手掛ける。
8	T.K. Corp	TKコーポレーション(TK Corporation.)は、パイプ継手メーカー。発電、ガス、オイル、石油化学、淡水プラント建設などの産業用施設の各種パイプ連結に使われる配管継手類(Fitting)製品などを手掛ける。
9	Leeno Industrial Inc.	リノ工業(LEENO Industrial Inc.)は、プリント基板・半導体IC検査機器用の部品メーカー。プリント基板検査用ピン、半導体チップ検査用ソケットなどを手掛ける。
10	GS Retail Co., Ltd.	GSリテール(GS Retail Co., Ltd.)は、コンビニエンスストア、スーパーマーケットなどを展開する小売チェーン運営会社。ホテル事業なども手掛ける。

※上記記載は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・韓国株ファンド

(愛称:韓国厳選投資)

マンスリーレポート

基準日 2019年5月31日

コメント

■市場環境

当月、KOSPI（韓国総合株価指数、韓国ウォンベース）は、日本の前月末最終営業日の4月26日との比較で6.31%下落しました。一方、KOSPI（韓国ウォンベース）をもとに当社が円換算した「KOSPI（韓国総合株価指数、日本円ベース、参照レートはロンドン時間午後4時のWMロイターレート）」は、同11.10%下落しました。

米中貿易摩擦が激化したため、世界経済の減速懸念が再び世界の株式市場の足枷になり始めています。中でもその影響が最も大きかったのが、韓国、中国、台湾の株式市場でした。KOSPIのセクター別パフォーマンスを見ると、銀行セクターと通信サービスを除く全セクターが下落しており、中でも下落幅が大きかったのが、ディスプレイ関連銘柄、ヘルスケア関連銘柄、化粧品関連銘柄でした。KOSPIは2,000ポイント前後の水準にありますが、これはPBR（株価純資産倍率）0.8倍に相当し、2008年の世界金融危機当時に近い水準です。

■運用状況

当月、当ファンドのパフォーマンスは前月末比8.86%下落しましたが、KOSPI（日本円ベース）の11.10%下落を2.24%上回りました。

特に韓国ウォン建てと日本円建てでは為替の影響で指数（KOSPI）のパフォーマンスに4%超の差があり、これは「かなり異例」と私どもは考えます。韓国ウォンをはじめとする新興国通貨が下落し、日本円が上昇しましたが、これは投資家が米中貿易摩擦による市場変動を回避しようと「安全資産」として日本円への資金シフトを行ったためと考えています。米中貿易摩擦が短期的に終結するという楽観的観測を持つことは難しく、目先は投資家が「安全資産」を選好する動きが強まる可能性が高いですが、「調整期間」が長期化すると、株式や新興国通貨も含めたリスク資産のバリュエーションに割安感が出てくると私どもは考えています。

当月のプラス貢献銘柄は、Douzone Bizon（ソフトウェア・サービス）などでした。

Douzone Bizon（ソフトウェア・サービス）は、当ファンドの組入上位銘柄で、前月に続いてパフォーマンスに対する貢献度が最大でした。同社はERP（Enterprise Resources Planning、基幹系業務用の統合ソフトウェア）ソリューションの大手プロバイダーで、韓国で圧倒的な市場シェアを握っています。私どもは、同社のデータベースとフィンテック事業を活用した事業拡大能力を前向きに評価しています。同社が運営しているプラットフォームは、ユーザーがいったんその操作性などに慣れると一般的にシステム変更が難しくなるので、同社のビジネスモデルは極めて「健全」であると考えています。更に、同社はクラウドサーバを通じてクライアントのデータを累積し、その情報を信用評価に活用することができます。同ERPの信用評価機能はリアルタイムの取引データを分析する設計になっており、銀行の従来の与信システムより信頼性が高いと私どもは考えます。

一方、当月のパフォーマンスにマイナスに影響した銘柄は、JYP Entertainment（メディア・娯楽）などでした。

競合企業のYG entertainment社が先日起こしたスキャンダルの余波がエンターテインメントセクター全体に及び、JYP Entertainment（メディア・娯楽）の株価は下落しました。同社は、売上高が韓国上位3位に入る大手ミュージックレーベルです。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・韓国株ファンド

(愛称:韓国厳選投資)

マンスリーレポート

基準日 2019年5月31日

コメント

(前ページより)

同社所属アーティストの「TWICE」は、デビューから僅か1年で日本のドームツアーコンサートを終えており、2019年にはアジア・北米ツアーも開催する予定です。Kポップはソーシャルメディアやストリーミングプラットフォームの進化によって、今や世界の音楽ジャンルの中でも主流になりつつあります。また、韓国のエンターテインメント企業では、YouTubeや海外の音楽配信を通じた売上が軒並み急成長しています。同社は作成するコンテンツの質が高いこと、アイドル候補の選抜基準が厳しいことで知られています。同社代表兼創業者のパク・ジニョン氏は、有名な歌手でプロデューサーも務めており、明確なコーポレートガバナンスの重要性を強調することで投資家の信頼を高めています。さらに、同社はアーティスト、アーティストグループごとに別々の専属チームを設置するというアイドルのマネジメント手法を採用し、他社との差別化を図っています。2016年以降はデビューしたアーティストが次々と成功を収めているため、同社の収益は好調に推移しています。本年2月にデビューした「ITZY」というグループが人気を伸ばしていることで、収益成長が順調に続くものと思われる。同社は日本のソニー・ミュージックエンタテインメント社との提携により、韓国国内で育成した日本人女性アイドルグループを年内にデビューさせる予定です。同社は韓国エンターテインメント業界の優良銘柄で、今後見込まれるKポップ人気の世界的な高まりから最大の恩恵を受ける立場にあると、私どもは考えます。

当ファンドは、今後も事業の潜在能力や韓国市場の構造的変化を生かして持続的成長を遂げると思われる企業を厳選し、ポートフォリオを構築してまいります。

■今後の見通し

米中貿易摩擦は長引き、ますます混迷の度合いを強めています。米国の保護主義が早晚収まるとは考えられず、中国との貿易摩擦が決着しても、欧州が次の標的になる可能性があります。ただし、こうした不確実性にもかかわらず、私どもの市場見通しはそれほど悲観的ではありません。米中両国は遅かれ早かれ合意に漕ぎつけ、最悪のシナリオを回避すると、私どもは考えます。両国首脳は6月末にG20首脳会合で顔を合わせる予定で、その場で解決策を見出すかもしれません。更に、OECD（経済協力開発機構）の景気先行指数に5か月先行するOECD景気動向指数は、4か月連続で上昇しています。景気が底入れした可能性が出てきたことから、新興国市場への投資資金の流入が起きる可能性があります。ただし、欧州および中国における景気減速の可能性を注視し、警戒を怠らないようにすることが重要です。

経済が「難しい状況」にある時期には、銘柄選定の重要性はますます高まります。優良企業とそれ以外の企業の間には大きな格差が発生する可能性があるからです。当ファンドの組入銘柄と投資先候補の銘柄については、さらに徹底したモニターを行います。当ファンドの目標は、経済状況にかかわらず、堅固で健全な集中型ポートフォリオを構築し、それによって一貫したリターンを生成することです。私どもは、今後も企業のビジネスの特性を徹底的に理解することで優良企業を見極めてまいります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

ファンドの目的

当ファンドは、主としてスパークス・韓国厳選投資マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)を通じて、韓国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

ファンドの特色

1. マザーファンド受益証券を通じて、韓国の優良企業に投資します。

- ◆ ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行います。
- ◆ 参考指数は KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)※とします。
ただし、参考指数への追従を意図した運用は行いません。
※「KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)」は、KOSPI(韓国ウォンベース)をもとに委託会社が円換算したものです。

2. 厳選投資します。

ベンチマークは設けず、銘柄を厳選して投資します。(特化型)

※当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

3. 長期保有します。

原則として短期的な売買は行わず、長期保有することを基本とします。

実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

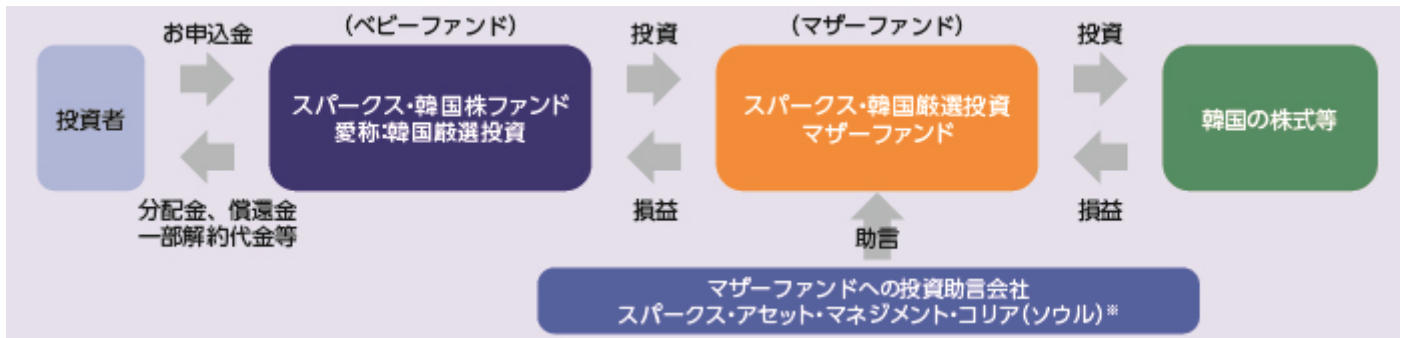
マンスリーレポート

ファンドの仕組み

ファミリーファンド方式[※]により、韓国の株式等へ実質的に投資を行います。

当ファンドが投資を行うマザーファンドについては、スパークス・アセット・マネジメント・コリア(ソウル)の韓国株式運用チームの投資助言を受け、当社のファンド・マネージャーが投資判断いたします。

※ ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金(ベビーファンド)をマザーファンドに投資し、実質的な運用をマザーファンドにて行う仕組みです。



※ スパークス・アセット・マネジメント・コリアは韓国ソウルに拠点を置くSPARXグループの一員であり、韓国でのボトムアップ・リサーチによる投資活動を強みとする会社です。また、リスク管理およびプロセスにも重点を置いており、それらを独立した組織として運営しています。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社について

◆ 一貫した投資哲学と運用プロセスを実践する独立系運用会社です。

スパークスは、1989年の創業以来、株式市場を取り巻く環境がいかに厳しくとも「マクロはミクロの集積である」という投資哲学の下、ボトムアップ・リサーチを行っております。

親会社であるスパークス・グループ株式会社は JASDAQ 市場(銘柄コード8739)に2001年12月に運用会社として初めて上場いたしました。

■ 当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■ 当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■ 投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■ 当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■ 当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■ 当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■ 当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■ 当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて内外の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産に投資しますので為替の変動により、基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

価格変動リスク

当ファンドは、実質的に海外の株式などを主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うこととなります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

カントリーリスク

一般的に海外の株式などに投資する場合、投資対象国・地域の政治、経済、社会情勢の変化等により金融・証券市場が混乱して株式などの価格が大きく変動する可能性があり、基準価額が大きく下落する要因となります。また、新興国市場への投資は先進国への投資と比較して価格変動、流動性、為替変動、政治要因等のリスクが高いと考えられています。また、情報の開示などの基準が先進国とは異なることから投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。国有化、資産の収用、あるいは通貨の回金の制限等により、かかる国への投資はリスクを増大させることがあり、その結果、重大な損失が生じる場合があります。

為替変動リスク

外貨建資産への投資については、原則として為替ヘッジを行いませんので、投資対象国の通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。外国為替相場の変動により投資を行う投資対象国の通貨建て資産の価格が変動し、これにより基準価額が変動し、損失を生じる場合があります。

集中投資のリスク

当ファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。なお、株式等の値動きに連動する債券については、債券の発行者に起因するリスクのほか、対象とする企業の株価の変動の影響を受けますので、対象とする企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合には、当該債券の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

その他の留意事項

●システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場および外国為替市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

お申込メモ(お申込の際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

ファンド名	スパークス・韓国株ファンド(愛称:韓国厳選投資)
商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	無期限(2018年12月21日設定)
決算日	毎年12月18日(休日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。
お申込時間	各販売会社で毎営業日お申込いただけます。お申込時間は、原則として午後3時までとします。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
お申込単位	販売会社が定める単位
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込不可日	販売会社の営業日であっても、以下に該当する日は、取得のお申込の受付は行いません。 ・韓国の金融商品取引所が休業日の場合 ※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
解約価額	解約請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
ご解約不可日	販売会社の営業日であっても、以下に該当する日は、解約のお申込の受付は行いません。 ・韓国の金融商品取引所が休業日の場合 ※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
解約代金の受渡日	解約請求受付日から起算して、原則として7営業日目からお支払いします。

お客様にご負担いただく手数料等について

下記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【お申込時】

■お申込手数料: お申込受付日の翌営業日の基準価額に **3.24%(税抜 3.0%)** を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額

【ご解約時】

■信託財産留保額: なし

■解約手数料: なし

【保有期間中】(信託財産から間接的にご負担いただきます)

■信託報酬: 純資産総額に対して **年率 1.7712%(税抜 1.64%)**

■その他の費用等

(1) 監査報酬、投資信託説明書(目論見書)や運用報告書等の作成費用などの諸費用(純資産総額に対して上限年率 0.108%(税抜 0.10%))

(2) マザーファンドの組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管費用等を、信託財産でご負担いただきます。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/> 電話番号: 03-6711-9200(受付時間: 営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・韓国株ファンド

愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

ファンドの関係法人について

●委託会社 **スパークス・アセット・マネジメント株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号
 (加入協会) 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
 信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

●受託会社 **三井住友信託銀行株式会社**

委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託を行います。

●販売会社 **下記一覧参照**

ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○		○
株式会社SBI証券※1	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
楽天証券株式会社※2	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第346号	○		○	○

※1 株式会社SBI証券は、6月18日(火)より取扱開始予定です。

※2 楽天証券株式会社は、6月28日(金)より取扱開始予定です。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/> 電話番号:03-6711-9200(受付時間:営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。